



岐阜県の新車販売台数(速報値)

Table with 6 columns: 会社名, 月別, 4月台数, 前月台数, 前月対比%, 前年同月台数, 前年同月対比%. Includes sub-table for 4月の新車登録台数 and 岐阜県全体登録台数.

※ネットトヨタはトヨタカローラ(旧)と2023年1月1日付で合併し、トヨタカローラネット岐阜(旧)に社名変更されました。(2022年度の台数につきましては、旧トヨタカローラ岐阜(旧)と旧ネットトヨタ(旧)を合算して掲載しております。)

※昨年4月に旧トヨタカローラ(東海)と合併されました。旧トヨタカローラ(東海)の台数(2022年1月~3月分)については、旧トヨタカローラ(東海)に合算して掲載しております。

4月の軽自動車新車届出台数

Table with 7 columns: 車種, 車名, 4月台数, 前月台数, 前月対比%, 前年同月台数, 前年同月対比%. Includes sub-table for 4月の全国新車販売(ブランド別).

4月の全国新車販売(ブランド別)

Table with 4 columns: メーカー, 4月, 前年同月, 前年同月対比%. Lists various car brands and their sales figures.

MYCAR 点検 FAIR 2026 6.6 11:00~18:00 inマ-サ21 マ-サスクエア. Advertisement for a car inspection fair with illustrations of people and cars.

シートベルト・チャイルドシートは車に乗る者を守る命綱であり、全ての座席でシートベルトを着用しなければならぬ。正しい方法で着用すれば、交通事故に遭った場合の被害を軽減することにつながり、その他にも着用により、正しい運転姿勢を保ち疲労を軽減させるなど、様々な効果がある。

また、6歳未満の子供や、6歳以上でも、体格などの事情により、シートベルトが適切に着用できず、安全・安心を欠く場合には、チャイルドシートやジュニアシートを使用し、危険から回避する必要があります。

令和7年中、自動車乗車中の県内の交通事故死者は16人(全死者の29.1%)で、このうち、シートベルト非着用者は5人だった。5人全員がシートベルトを着用していれば命を落とさなかった可能性がある」と分析されている。

【実施期間】令和8年6月1日(月)から30日(火)まで 【重点】全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底 【重点に関する推進事項】交通安全教育の推進・日本自動車連盟(JAF)協力のもとシートベルト着用効果体験を実施し、シートベルトの正しい使用に関する交通安全教育を実施する。

・各種会合などにおいて、シートベルト・チャイルドシートの非着用による車外放出等の危険性を訴え、着用の効果と必要性の理解と正しい使用方法等に関する交通安全教育を実施する。

・職場では、朝礼等の機会を通じ、シートベルトの着用効果を周知するとともに、従業員等の着用率100%を目指す。 【広報啓発活動の推進】あらゆる広報媒体を活用し、全ての座席のシートベルトの着用について啓発する。 ・運転者に対し、助手席だけでなく、後部座席の同乗者にもシートベルトを正しく着用させるよう広報啓発活動を実施する。 ・高速乗合バス・貸切バス等の事業者が主体となり、全ての座席でのシートベルトの着用が徹底されるよう広報啓発を強化する。 自動車に乗った後部座席を含めたシートベルトの着用は全ての道路で義務である。シートベルト非着用による被害の拡大は被害者の過失とされる場合があるため、被害者であっても、損害賠償等の

マイカー点検フェア2026 一般社団法人 岐阜県自動車整備振興会. Advertisement for a car inspection fair.

このイベントは、各後援、団体の協力のもと、フェアを通して自動車使用者の日頃から保守管理意識を高めることに重点を置き、自動車の構造及び点検・整備に関する正しい知識を身に付けることとなる。

- 自動車整備士体験コーナー
●ミニ四駆制作、フリー走行体験(限定70台)
●安心・安全ふれあいコーナー等の多数のプログラム

シートベルト・チャイルドシートは車に乗る者を守る命綱であり、全ての座席でシートベルトを着用しなければならぬ。正しい方法で着用すれば、交通事故に遭った場合の被害を軽減することにつながり、その他にも着用により、正しい運転姿勢を保ち疲労を軽減させるなど、様々な効果がある。

また、6歳未満の子供や、6歳以上でも、体格などの事情により、シートベルトが適切に着用できず、安全・安心を欠く場合には、チャイルドシートやジュニアシートを使用し、危険から回避する必要があります。

令和7年中、自動車乗車中の県内の交通事故死者は16人(全死者の29.1%)で、このうち、シートベルト非着用者は5人だった。5人全員がシートベルトを着用していれば命を落とさなかった可能性がある」と分析されている。

【実施期間】令和8年6月1日(月)から30日(火)まで 【重点】全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底 【重点に関する推進事項】交通安全教育の推進・日本自動車連盟(JAF)協力のもとシートベルト着用効果体験を実施し、シートベルトの正しい使用に関する交通安全教育を実施する。

・各種会合などにおいて、シートベルト・チャイルドシートの非着用による車外放出等の危険性を訴え、着用の効果と必要性の理解と正しい使用方法等に関する交通安全教育を実施する。

・職場では、朝礼等の機会を通じ、シートベルトの着用効果を周知するとともに、従業員等の着用率100%を目指す。 【広報啓発活動の推進】あらゆる広報媒体を活用し、全ての座席のシートベルトの着用について啓発する。 ・運転者に対し、助手席だけでなく、後部座席の同乗者にもシートベルトを正しく着用させるよう広報啓発活動を実施する。 ・高速乗合バス・貸切バス等の事業者が主体となり、全ての座席でのシートベルトの着用が徹底されるよう広報啓発を強化する。 自動車に乗った後部座席を含めたシートベルトの着用は全ての道路で義務である。シートベルト非着用による被害の拡大は被害者の過失とされる場合があるため、被害者であっても、損害賠償等の



6月 シートベルト・チャイルドシート 着用強調月間